

斉藤 陽一

自分自身がお客としてどんなりハスタだったら
行きたいと思うか?を考えたところが原点ですね

JES International, Inc / J'z Studio 代表取締役



J'z Studio/J'z Studio Westは名古屋市の東に位置する日進市にあるリハーサル&レコーディングスタジオだ。この夏増築されたJ'z Studio Westは最新設備を持つスタジオである。この2つのスタジオのコンセプトや郊外型のスタジオの営業形態について、斉藤陽一社長にお話を伺った。



J'z Studioがオープンしたのはいつ頃ですか?

JES Internationalの社屋を新築移転した07年4月です。1FがJESのオフィスと倉庫で、2Fが8部屋のリハーサルスタジオであるJ'z Studioとなっています。

最寄り駅がほとんどないエリアにオープンしたのはなぜですか?

経営母体であるJESのスタッフ全員が仕事と音楽に集中できる環境として選んだのがこの日進市です。日進市は名古屋市と豊田市の中間に位置し、どちらへも車でアクセスが良く、ゆったりとした雰囲気の中で音楽に集中できる環境だと思います。また合計62台分の無料駐車スペースを設けてあるので、街中のように駐車料金を気にしながら、ということはありません。

J'z Studioのコンセプトは?

十数年前から、社屋移転の時はリハスタをやろうとアイデアをしたためていました。特にカナダ、アメリカのリハスタは、それぞれのスタジオの独自性が強く、非常に参考になりました。リハスタをビジネスとして捉える前に、ミュージシャンである自分自身がお客としてどんなりハスタだったら行きたいと思うか?を考えたところが原点ですね。JESの扱い商品と同様に、自分自身が納得できる環境を提供できれば、周りのミュージシャンに自信を持ってオス

スメできる。そうしたスタジオでありたいと思っています。それはいつ来てもキレイ(特にドラム周り)で、いつもメンテの行き届いた機材があり、バランスのとれた部屋のアコースティック環境、ゆったりとしたロビーなど。機材の中では特にドラムのサウンドとメンテの評判が良いです。私を含め5人のドラマーが設定した内容と方法で、毎日チューニングとクリーニングは欠かさず行なっています。全てのドラムの金具やシンバルが4年経過後の今もピカピカです。個人練習でわざわざ遠方から来るドラマーがいるほどです。

J'z Studioには先進のサービスなども多いようですね。

無料駐車スペースが62台分ありますが、通常のリハスタ利用では駐車スペースが不足することはまずありません。クリニックやイベント時は別途駐車場を手配しますが、それは特別の時の話です。予約はオープン時からネット予約システムを導入しています。現在、ネット予約率は30%ほどです。フリーWi-Fiもパソコン、iPhoneなどのスマートフォンで当然の流れですね。自分自身がリハスタに望む内容を全て網羅し完備する・自分用に作ったスタジオのような(笑)。それはともかく、本格的なリハスタのおかげでJES製品のチェックや動画制作など、その相乗効果は予想以上に大きいです。

各部屋の仕様や、楽器輸入代理店ならではの特徴を教えてください。

各部屋のアコースティック環境は「ややデッド」、「普通」、「ややライブ」の大別して3つ。心地良さを基準は音楽や好みで変わりますが、非常に重要なポイントだと思います。バンドによっては通常練習は「ややデッド」な部屋、ライブ前は「ややライブ」な部屋という私が当初予想しな

かった使われ方もされています。導入機材は、時流に左右されず、自分自身が直接体験した中から良いと思うものを選択しています。機材メンテは代替品、自社内修理などにかなり力を入れておまして、利用者から見ると一目瞭然だと思います。機材の中で特筆すべきは「J'z Studioは世界で唯一のフィル・ジョーンズ・ベースアンプを導入したりハスタである」こと。アンケートを取ると賛否両論ありますが、無駄にボトムが中心でマディーな音にならず、音程感がわかりやすく、時差のないトラッキング、まさに練習にはうってつけのベースアンプだと思います。そして驚くべきはその耐久性。4年半でスピーカー破損、アンプ故障ゼロ(!)です。思った以上に製品に対する自社内評価が高まりました。スタジオ利用者の方に提供しているリペアサービスは好評であると同時に、スタッフ全員の楽器知識とノウハウが高められるので一石二鳥です。今のところJES取り扱いのゴダンギターなどのレンタルは限定的ですが、徐々に増やしたいと思います。

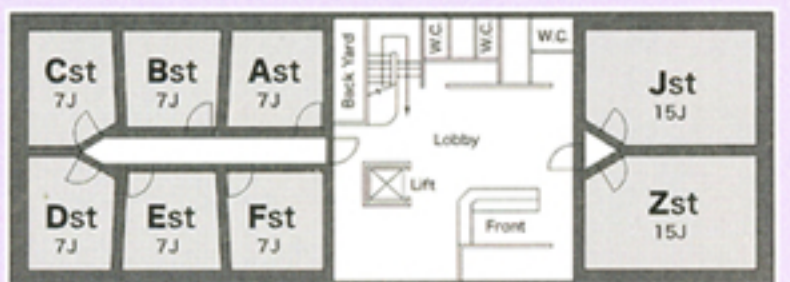
J'z Studio Westはレコーディングにも力を入れているようですね?

新スタジオのJ'z Westは本館からわずか100mの便利なロケーションで、レコーディングとネット環境に特化したスタジオです。プロはもちろんですが、アマチュアの間でレコーディングの需要がかなり高まっています。若い人は積極的にアピールする作品作りに、また、おじさんバンドは記録用などにレコーディング

をしているようです。アンケートではスタジオ利用者の内約65%の人がレコーディングをしていて、その内の半分がレコーディングスタジオを利用、残りの半分がセルフレコーディングとなっています。以前から本館では可動式のレコーディングシステムで対応してきましたが、J'z Westでは「これからのリハスタはこうなる」を独自解釈で積極的に展開しました。最新のプロ・ツールズと関連機器を導入し、コントロール・ルーム、ボーカル・ルーム、またスタジオ全3部屋を同時にレコーディングで利用できる環境を整えました。Wi-Fiや全部屋ギガビットのLAN対応で、お客様自身もスタジオ内から独自でUstream配信や映像撮りが容易にできます。本館の2部屋も同様な設備でアップグレードし、同時に日頃からリクエストの多かったデジタル・メトロノーム(TAMA RW105 Rhythm Watch)を本館、Westの全部屋に常設しました。

スタジオ利用者の反応は?

J'z West全3部屋と本館2部屋は常設の天吊ステレオマイクとTEACのCD-RW機器で簡単にCD録音(無料)できます。帰りの車の中でその音を聞き次の練習に備える。自分自身のバンドがこうしてレベルアップしたいという願望でもありますね。他にも著名なアーティストのセミナーやクリニックを開催したり、スタジオ利用者のためのスタジオライブの企画、Ustreamライブ配信の対応なども行なっています。スタジオとしてこうありたい・こうしたいをどう実践して行くか、人気取りやリアクションを期待するのではなく、このような熱意と信念を持ち続けていけば、自ずとその評価と結果はついて来るのではないのでしょうか?唯一の悩みは、こうありたいと思うスタジオの投資額が大きく、スタジオの利益がアップグレードや新規投入の機材に消えてしまうことでしょうか。いずれにしても本社のJESとの総合的なスケールメリットは想像以上に大きく、今後もスタジオの理想像を追求して行きたいと思っています。



J'z Studio West
日進市蟹甲町浅間下559-3